

秩父市イメージキャラクター

ポテくまくん

着ぐるみ使用に関する留意事項



この「留意事項」を十分熟知してから、着ぐるみをご使用ください。

1 事前確認事項

着ぐるみを使用する前に、必ず以下のことを確認してください。

①人員体制

- ・着用者は2人以上いて、順次交代して着用していくことができれば理想的です。
- ・1人の場合は、1回の着用時間を原則30分程度(夏季は15分程度)までとし、必ず休憩を取ってください。
- ・着ぐるみ着用者の視界は非常に悪くなるため、演技中や移動時においても必ず1人以上の介添者をつけることとし、移動やパレード時などの補助をしてください。
- ・小学生以下の児童が集まるイベントは、介添者を2人以上つけてください。
- ・イベント等においては、演出等について事前に司会者と十分な打合せを行っておいてください。(ポテくまくんはしゃべらないことになっています。)
- ・着用者及び介添者は、必ずこの留意事項を熟知しておいてください。

②控室の確保

- ・控室は、着替えることのできる十分なスペースがあり、着ぐるみを広げることのできる部屋を用意してください。
- ・外部から決して覗かれることのないよう、留意してください。また、関係者以外の人目に触れないように着脱させてください。
(控室は、関係者以外立ち入り禁止区域内に設ける。入口前にパーテーションなどを置いて、外から控室内が見えないようにするなど。)
- ・控室は、ステージや登場ポイントに近い所が望ましいです。

③その他

- ・着ぐるみ使用の前日及び翌日の使用状況を確認し、着ぐるみ受け渡しの調整を秘書広報課と行ってください。
- ・雨天における屋外での着ぐるみの使用はできません。天候が変わった場合は、速やかに撤収してください。また、火気、水気には絶対に近づけないでください。
- ・破損したり汚損した場合は、必ず秘書広報課に申告してください。

2 着ぐるみの着脱

①着用者の「基本の服装」

着ぐるみを着用する際は、次の使用者が快適に使用するため、素肌が直接着ぐるみに触れないよう、以下の「基本の服装」で着用してください。

◆頭

・汗止めのため、バンダナや手ぬぐいなどを巻く。

◆体

- ・长袖シャツ(汗を吸いやすい生地のもの)、長ズボン(ジャージ、スパッツ等)
- ・手袋(軍手等)
- ・首には汗止めのタオル、またはネッククーラーなど
- ・靴下も必ずはいてください。
- ・汗をかくので着替えも用意してください。



基本の服装→

②注意事項

- ・着ぐるみの着用者は、原則として、身長155cm 以上170cm 以下の方とし、体調のすぐれない場合は遠慮してください。着ぐるみは視界が悪いうえ、構造上動きが制限されるため、着用者は周囲の状況に十分注意してください。
- ・睡眠不足、二日酔いなどに注意し、体調を整えてください。
- ・事前に適度なストレッチなど、十分な準備運動をしてください。
- ・着用者は、十分な水分補給をしてください。特に、夏場は確実に行ってください。
- ・緊急の場合を想定して、介添者に緊急時のサイン・伝達方法をあらかじめ決めておいてください。

3 着脱の方法

着脱に当たりましては、次の手順で行ってください。また、着用・脱ぐときには、介添者が必ず補助してください。(別冊の着ぐるみ製作会社監修のマニュアルも参考にしてください)

①着用するとき

- ア) 着用者は、长袖シャツ、ジャージ等の「基本の服装」になり、手袋、バンダナ等を着用してください。着用の際は、汚れた床や地面に着ぐるみを直接置かないでください。その場合にはビニールシートなどを用意し、その上で着脱を行ってください。
- イ) ベストの背面のポケットに充電済みのバッテリーを装着後、ベストを着用してください。着用後、ベスト前面のベルトを調整してください。



ウ) 着ぐるみの後頭部のファスナーを開け、中にあるファンにつながっているコードをバッテリーにつないでください。コードについているスイッチ及び充電ゲージを、ベスト右下にあるマジックテープで固定します。



エ) ポテくまの足のシャワーキャップ(汚れ防止用)を外します。
着ぐるみの中にある青いメッシュの袋(芳香用のための防虫剤がいくつか入っています。)を取り出します。



着ぐるみを大きく開口しておき、足を入れます。(クロックスのサンダルが入っています。)

オ) 着ぐるみを持ち上げ、ベストのA、Bの同じ色のバックル(4か所)をはめます。



カ) ファンのスイッチをオンにしてから、着ぐるみをかぶり、後頭部のファスナーをしめます。膨らんできたら、着ぐるみをひとまわり確認し、異常がないかを確認します。

キ) 「名札」を左胸に付けます。マジックテープをテグスに通してはさみ込むように取り付けてください。



ク) 必要であれば「みそポテト」をつけたタスキを肩に斜め掛けします。ポテくまくんの右肩にテグスの輪があるので、それにタスキを通し、「斜め掛け」します。(次ページの写真参照)

※「みそポテト」はポテくまくんが直接持つこともできますが、着ぐるみが長時間持っていることは困難なので、直接持つのは短時間の場合に限りです。



タスキは右肩のテグスを通す



タスキの留め方: 輪っかにマジックテープを通し、折り返して留める



みそポテト装着時の姿

②脱ぐとき (基本的に着用の時と逆の順番で脱いでいきます。)

- ア) タスキ掛けの「みそポテト」と「名札」を外します。
- イ) 後頭部のファスナーを開け、ファンのスイッチをオフにします。
- ウ) ベストに装着したバッテリーのコード、スイッチと充電ゲージ、ベストのバックル 4 か所を順次外します。
- エ) 着用後、着ぐるみの内部の濡れた箇所を拭くなどし、すぐに乾かしてください。ベストは消臭剤などを吹き付けて、同じく乾かしてください。

オ) 着ぐるみのたたみ方: 足に「シャワーキャップ」をはめてから足の裏と裏とを合わせ、それを「しっぽ」とあわせてくるむように巻いていきます。巻いたら、赤い布袋に収納します。



足の裏と裏を合わせてクルクル巻いてからひっくり返すと・・・



このようになります。このまま赤い布袋に収納してください。

4 演技の際の留意事項

着用者向け

着ぐるみ着用者は、次の事項に留意し演技してください。

①動きについて

(ア) 動きはオーバーアクション気味に動いてください。

⇒着ぐるみは手足が短いので、意識的に大きく動かないと見ている側には着ぐるみの動きが小さく見えてしまいます。

(イ) 小さな子供との握手は、できるだけ低い体勢で行うのが理想的です。

⇒子どもは大きな着ぐるみに見下ろされる感覚になり、恐怖心を抱くことがあります。

(ウ) 子どもや赤ちゃんを抱きかかえる行為は、落とす危険があるので厳禁です。

(エ) イメージダウンにつながる行為は厳禁です。

②発声について

(ア) 着用中は絶対に声を出さないでください。(特に介添者との雑談は厳禁)

⇒ポテくまのキャラクターイメージを壊さないためです。

(イ) 着用者の感情は表に出さないこと。

⇒不都合な事態は介添者が対応してください。

(ウ) 介添者との間に「緊急事態」「トイレ」などを知らせるサインを決めておいてください。

⇒周囲の人から殴る蹴るなどの行為を受けた際も、介添者へのサインで対処してください。

③移動について

(ア) 進行スピードや方向については、介添者の指示に必ず従ってください。

⇒着ぐるみのサイズが大きく、視界も悪いうえ、ファンの送風音により周囲の音が聴こえにくいです。目の届かない部分は必ず介添者の指示に従ってください。

(イ) 走る行為は厳禁です。

⇒転んだり、周囲の小さな子どもや器物にぶつかって事故につながる可能性があります。また、着ぐるみは構造と素材の関係から、小さな歩幅でしか歩くことができないため、長い距離を歩くことや階段・段差を越えることが難しいので注意が必要です。

④環境について

(ア) 着ぐるみ内部は高温多湿となるため、1回の使用は30分程度(夏季は15分程度)を目安とし、着用者は必ず十分な休憩をとるとともに、水分補給を行ってください。複数人が交代で着用することが理想的です。また、無理・無茶な行動は絶対にしないでください。

⇒炎天下での着用は時間を調整し、水分補給は必ず行ってください。保冷剤・ネッククーラーなどを使用して体を冷却することも効果的です。

(イ) 火気のそばは、引火の危険があるので絶対に近寄らないでください。また、着用したままの喫煙は特に厳禁です。

(ウ) 雨天時には屋外に出さないでください。

⇒ポテくまくんは、バッテリーを使用している精密機器ですので、感電や故障の恐れがあります。また、着ぐるみの足は大変滑りやすいので、転倒する危険や修復不可能な汚れになる場合があります。

(エ) 充電ゲージの残量が1目盛りになったら、そろそろバッテリーの交換時期ですので、ポテくまくんが控室に戻るタイミングを見計らってください。(バッテリーの性質上、すべて使い切ってしまううちに交換をしてください。)

介添者向け

着ぐるみ介添者は、次の事項に留意して介添えしてください。

①位置について

(ア) 着ぐるみとは「付かず離れず」を心がけ、緊急時の際にはすぐ対応できる距離に必ず付いてください。

(イ) 必ず、着ぐるみの斜め前あたりから先導し、必要なときは手を引いて着ぐるみの歩行を補助してください。

(ウ) 介添者が2人以上付く場合は、前後に分かれてください。

⇒着ぐるみが振り返るときなど後方は危険なため、注意してください。

②声かけについて

(ア) 演出のポイントなどでは、必ず状況を着用者へ知らせてください。

⇒着用者は、視界が悪いうえ、着ぐるみのファンの音で、意外と周囲の音が聴こえませんが、随時状況を伝えてください。

(イ)握手・写真撮影は、必ず正面からポテくまくんにオーダーするようにしてください。

⇒声かけは、親しげに着用者ではなく、ポテくまくんへ声をかけてください。

例:「ポテくまくん、お友達が握手したいそうよ!」、「ポテくまくん、前に階段があるから気をつけてね!」

(ウ)控室の外で、着ぐるみを着用したままの着用者と雑談をしないでください。

③対応について

(ア)周囲の状況に絶えず気を配ってください。

⇒進行方向や人・障害物などの存在を確認し、着用者に随時伝えてください。着ぐるみが周囲の器物や人にぶつかったり、転んでケガなどしないよう、常に注意を払ってください。子どもなどの突進は必ず止めてください。

(イ)着用者の様子に気を配り、無理をさせないようにしてください。

⇒出演時間はあらかじめ決めておき、時間管理の上、切り上げるタイミングもあらかじめ考えておいてください。延長はなるべく避けた方がいいでしょう。

(ウ)着ぐるみに危害・いたずらを加える人(子ども)には、毅然とした態度で注意してください。酔っ払いにも注意が必要です。

(エ)お客さんからの「入ってるのは誰? 男? 女?」などの質問には、「ポテくまくんは、ポテくまくんですよ!」とにこやかに答えてください。

⇒ポテくまくんのイメージを守るため、着用者が誰かということについて答えることはしないでください。

(オ)握手や写真撮影の際には、人の整理を行ってください。

※可能であれば、介添者も事前に着ぐるみを着用(体験)しておくことができると理想的です。



問合せ先:

秩父市市長室秘書広報課

〒368-8686 秩父市熊木町 8 番 15 号

TEL:(0494)22-2201【直通】

FAX:(0494)24-7272

Mail: hisyo@city.chichibu.lg.jp

20150429①

20150605②